

F SPORT PARTS (TRD)**MS341-53006/7/8
フロントスポイラー****取付・取扱要領書**

この度はF SPORT PARTS (TRD) フロントスポイラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取付けはできません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品 番	塗装色	適合車種	型 式	年 式	備 考
MS341-53006-A0	ホワイトノーヴァガラスフレーク(083)	レクサス IS	GSE31 ASE30 AVE3#	'20.9～	F SPORT のみ適合 ポップアップ フード対応品
MS341-53006-B0	ソニックチタニウム(1J7)				
MS341-53006-C0	グラファイトブラックガラスフレーク(223)				
MS341-53007-NP	未塗装品				
MS341-53008	ブラックエディション(212)				

・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

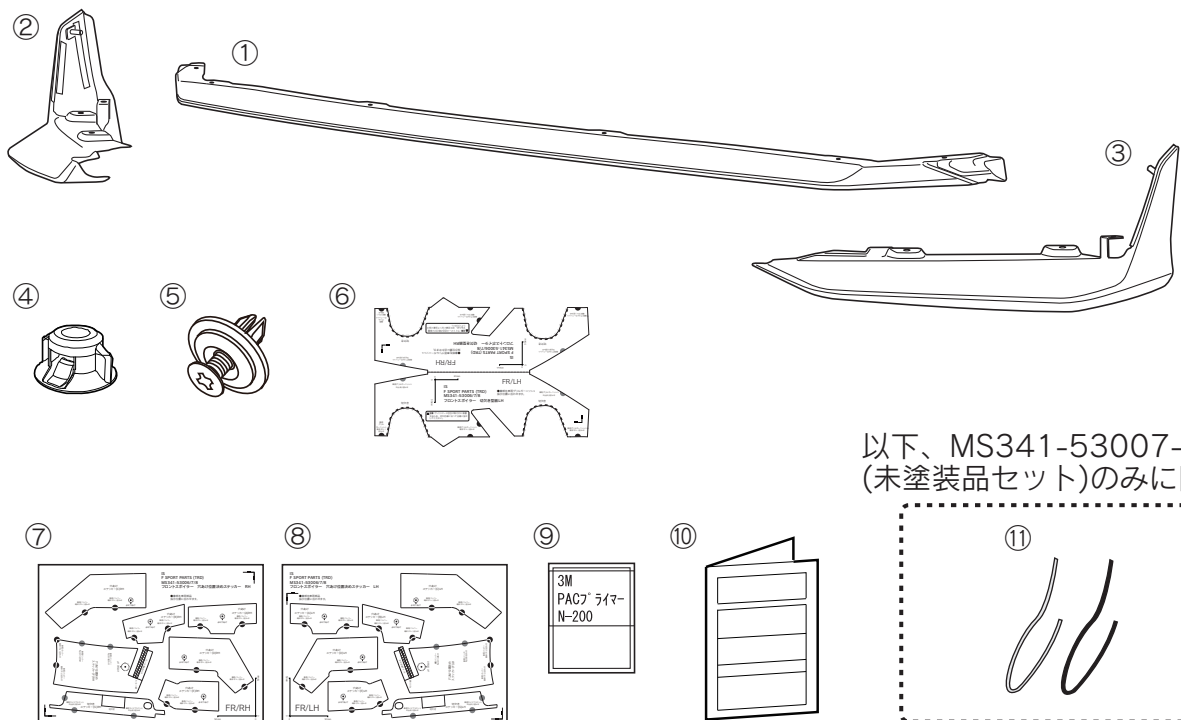
No.	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	センターピース		1	
②	サイドピース RH		1	
③	サイドピース LH		1	
④	クリップナット		2	
⑤	スクリベット		10	
⑥	切欠き型紙 RH/LH		各1	分割して使用
⑦	穴あけ位置決めステッカー RH		1	
⑧	穴あけ位置決めステッカー LH		1	
⑨	PACプライマー		1	N-200
⑩	取付・取扱要領書		1	本書

以下、MS341-53007-NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	部 品 名	品 番	数 量	備 考
⑪	モール		各1	ブラック/ライトグレー L=500mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



■ モール設定 推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー	カラーNo.	カラー名	推奨モールカラー
083	ホワイトノーヴァガラスフレーク	ライトグレー	223	グラファイトブラックガラスフレーク	ブラック
1J7	ソニックチタニウム	ブラック	3T5	ラディアントレッドコントラストレイリング	ブラック
1L1	ソニッククロム	ブラック	8X1	ヒートブルーコントラストレイリング	ブラック
1L2	ソニックイリジウム	ブラック			

取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行なってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行なうと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行なってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「トヨタモビリティパーツ㈱取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂ができず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です。
- ❗ 本商品に塗装する際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は、製品の変形が変形しないように固定してください。乾燥温度が高いと製品に変形やひび割れを起こしますので、70℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
- ❗ 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図、モール設定推奨カラー表 1～2
2. 取付け上のご注意(取付け作業の方へ) 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付け構成図 4
4. 未塗装品の取扱いについて 5～6
5. 取付け準備・取付け要領 7～13
6. 取付け完了後の点検・注意事項 13

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・プラスドライバー・クリップリムーバー
- ・ 加工用工具(ハサミ・カッター等)・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
- ・ 超音波カッター
- ・ 電動ドリル(刃：3.0mm/6.0mm/10.0mm)
- ・ 軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ ホワイティガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

■ 保証について

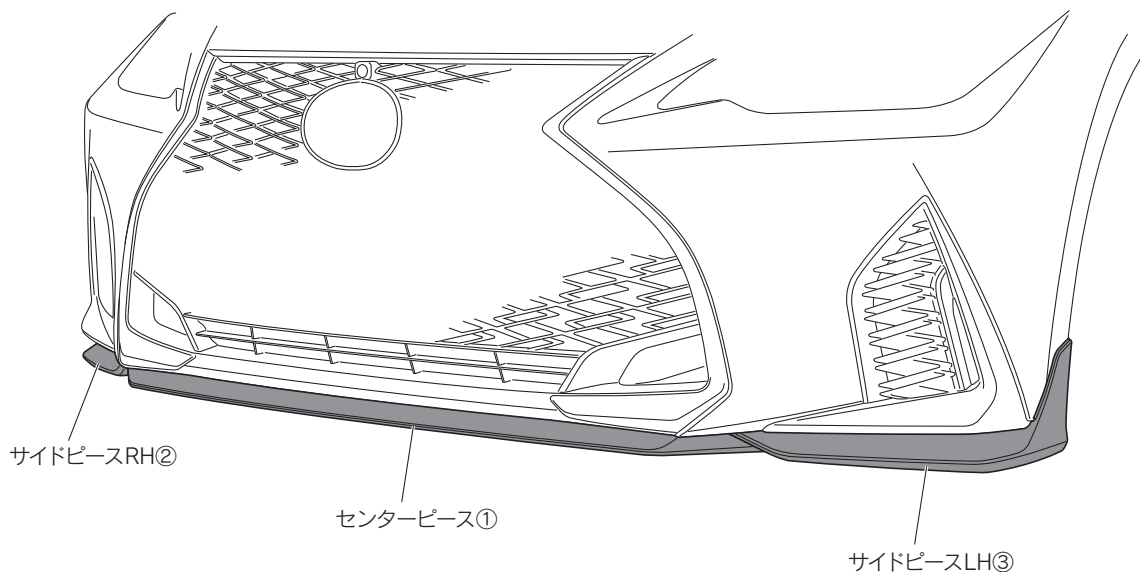
本商品は、3年・60,000kmの保証を実施致します。

(3年または60,000km走行時点のいずれか早い方まで)

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付け構成図



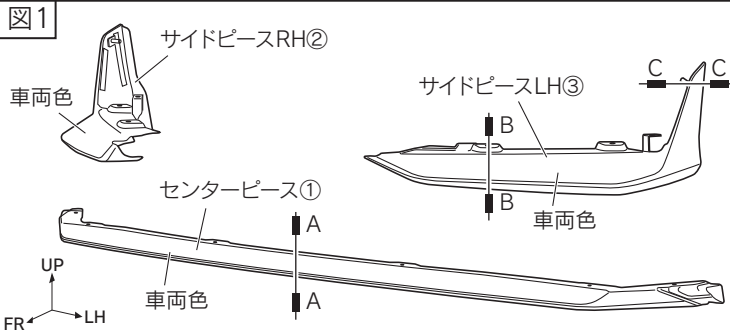
塗装済み品の取付けは、7 ページ【取付け準備 取付け要領】に進み作業を行なってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS341-53007-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ フロントスポイラーの塗装



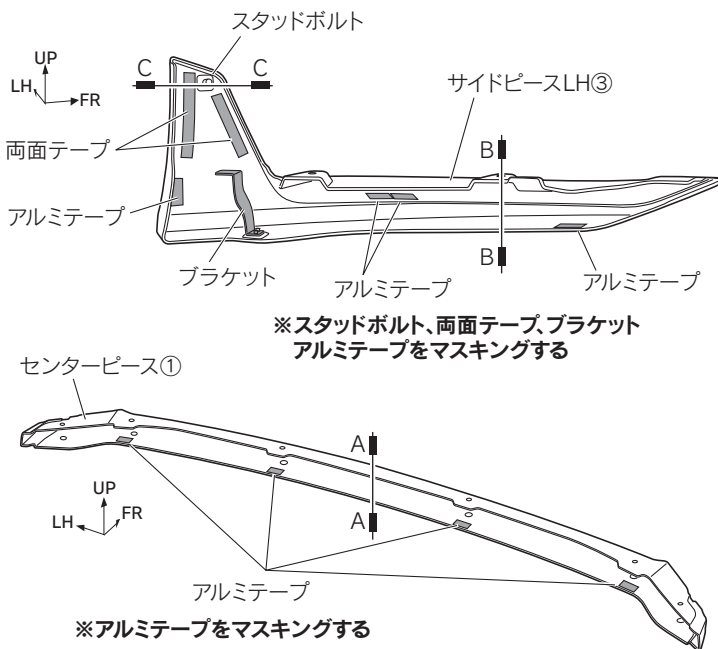
1. 図1のようにセンターピース①、サイドピース②③を車両色で塗装する。

⚠ **注意** : 本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。
塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサーフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

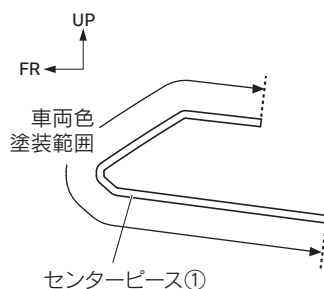
⚠ **警告** : 両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠ **注意** : 乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

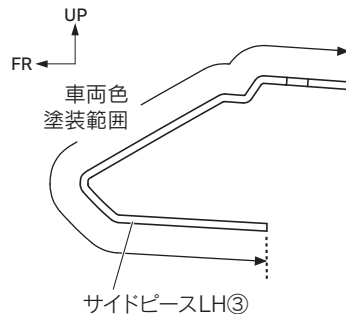
裏面視 ※LH図示 左右共通作業



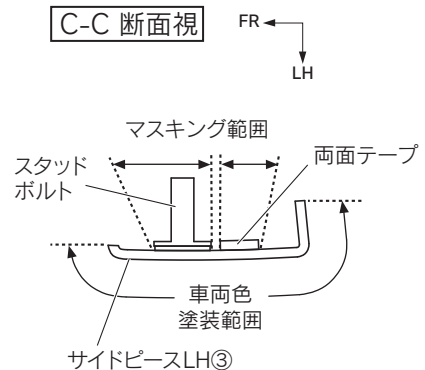
A-A 断面視



B-B 断面視

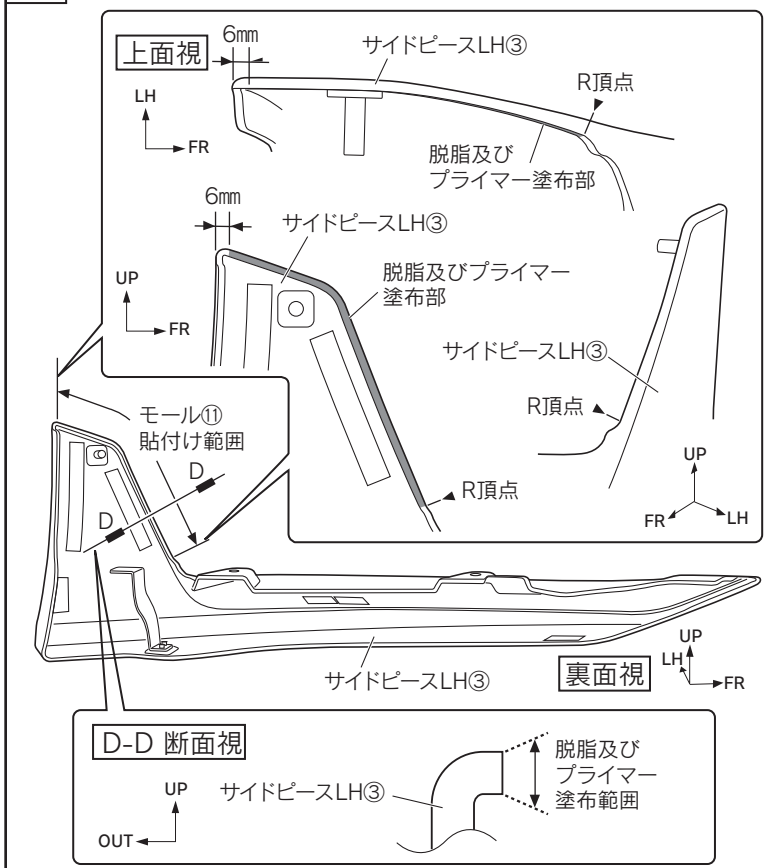


C-C 断面視



□ モールの貼付け

図2 ※LH図示 左右共通作業

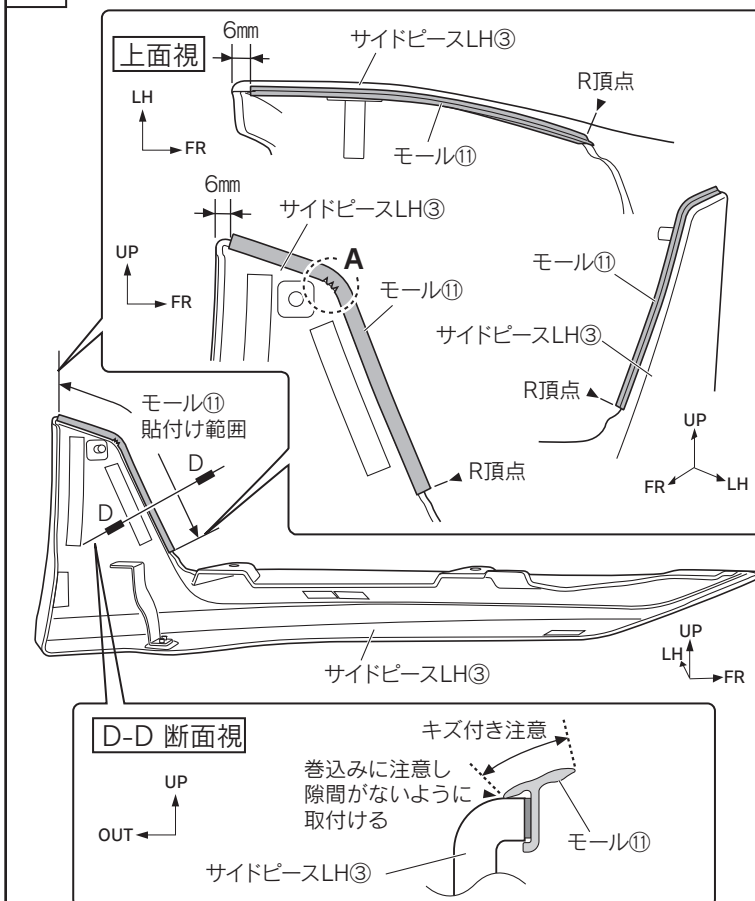


1. 図2のようにサイドピースLH③のモール⑪貼付け部の汚れを去除し、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみPACプライマー⑨を塗布する。

⚠ **注意** : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

💡 **アドバイス** : 脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

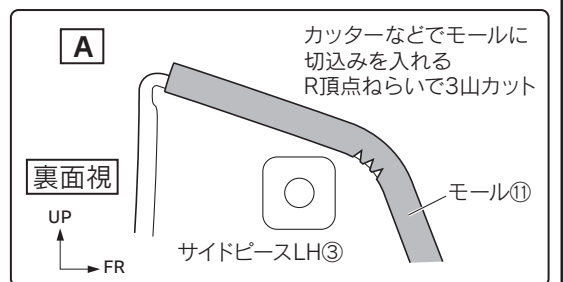
図3 ※LH図示 左右共通作業



2. 図3のようにモール⑪の両面テープの離型紙を剥がしながら貼付け圧着する。モールは長めに設定されているので、長さを合わせてハサミ等で切り落とす。

⚠ **注意** : モールは二色同梱されています。塗装色に合わせてモール色を選択し貼付けてください。

⚠ **注意** : 両面テープの接着力を最大限発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び製品の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

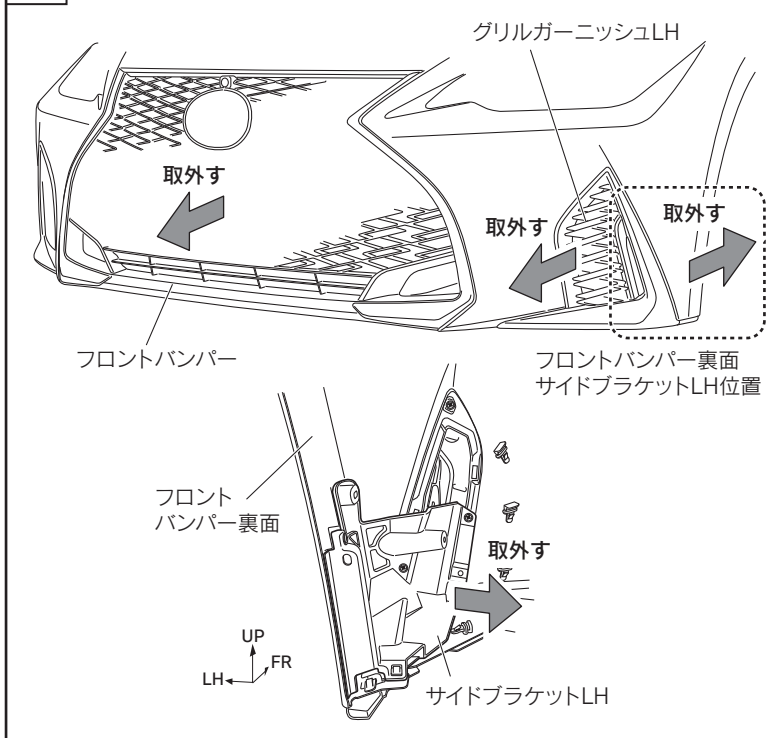


■ 取付け準備・取付け要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ フロントスポイラーの取付け準備

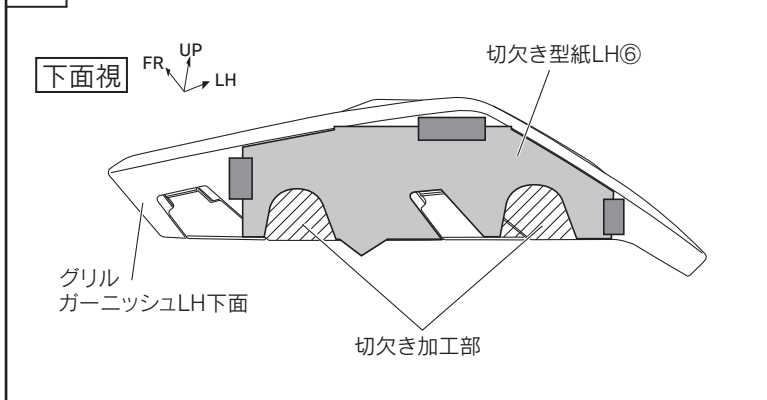
図4 ※LH図示 左右共通作業



1. バッテリーのマイナス端子を取外す。
2. 図4のように該当車両の修理書に従い、車両からフロントバンパーを取外し、フロントバンパー裏面のサイドブラケットLHを取外す。
3. 図4のようにフロントバンパーからグリルガーニッシュLHを取外す。

⚠ **注意** : 取外した車両部品、車両スクリュー、クリップ類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

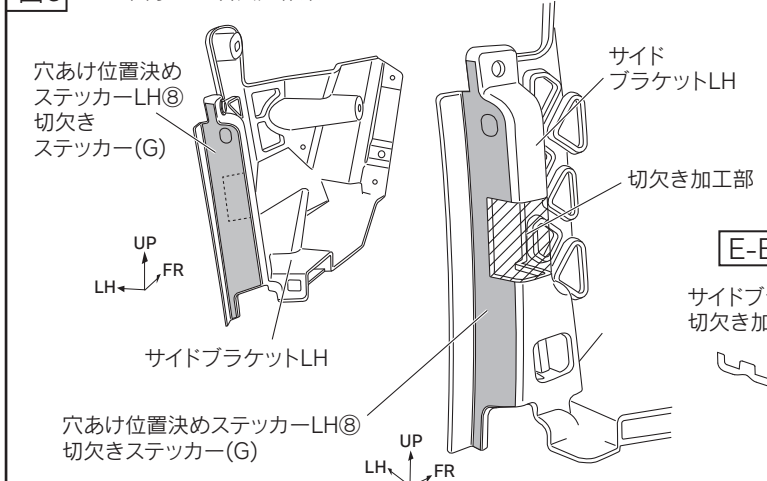
図5 ※LH図示 左右共通作業



4. 図5のように切欠き型紙LH⑥をマシン目で切り離し、グリルガーニッシュLH下面にマスキングテープ等で貼付ける。
5. 図5のようにグリルガーニッシュLHを超音波カッターで切欠き加工する。
加工後、切欠き部のバリを除去する。

⚠ **注意** : サイドピース②③の取付けに影響するため、切欠き線に沿って正確に加工してください。

図6 ※LH図示 左右共通作業



6. 図6のように穴あけ位置決めステッカーLH⑧から切欠きステッカー(G)を剥がし、サイドブラケットLHに貼付ける。
7. 図6のようにサイドブラケットLHを超音波カッターで切欠き加工する。
加工後、切欠き部のバリを除去する。

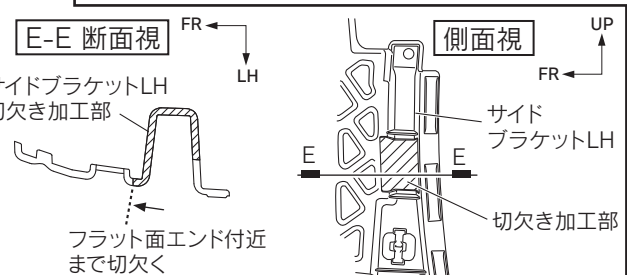
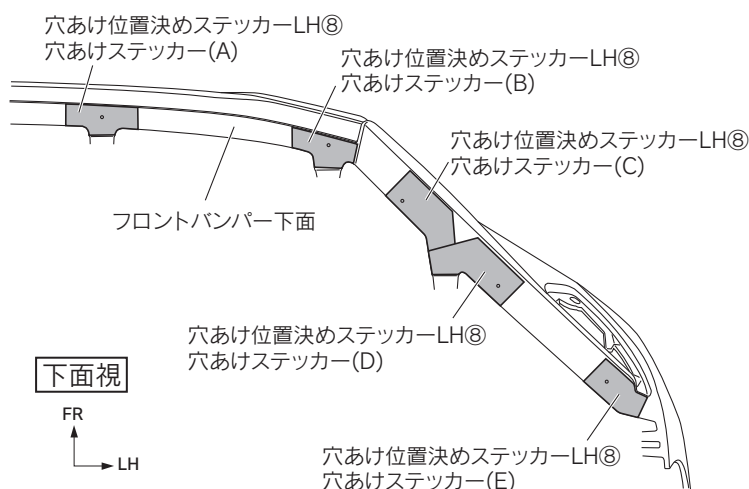


図7 ※LH図示 左右共通作業

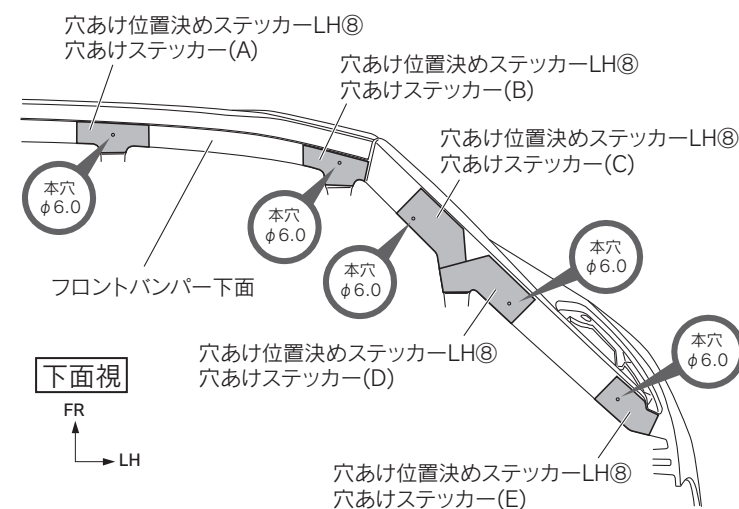
ステッカー記載の要領に従って正確に貼付けてください。



8. 図7のように穴あけ位置決めステッカーLH⑧から穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)を剥がし、フロントバンパー下面に貼付ける。

アドバイス: フロントバンパーからサイドブラケットLHを取外した状態で作業してください。

図8 ※LH図示 左右共通作業

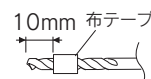


9. 図8のように穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)に型抜きされている小さな穴の中心を狙いケガキ針で印を付け、ドリルで下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。(左右各5箇所)

注意: 作業時は保護メガネを着用してください。

注意: 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

アドバイス: 突き抜け防止のため、ドリル先端から10mmのところに布テープを巻付けてください。

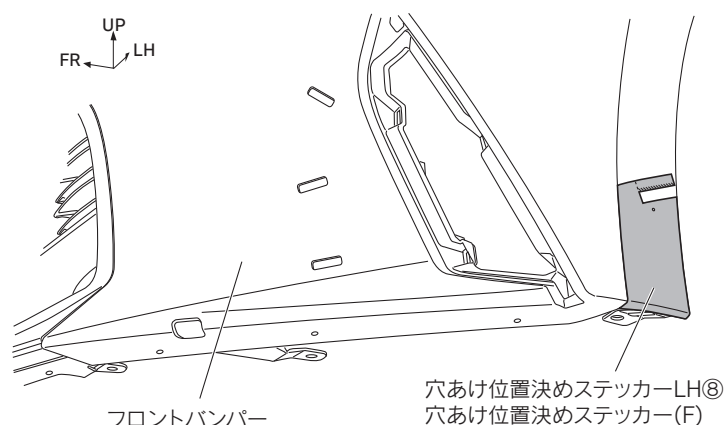


下穴φ3.0 本穴φ6.0 (左右各5箇所)

10. 穴あけステッカー(A)、(B)、(C)、(D)、(E)を剥がし、穴周囲のバリを除去する。

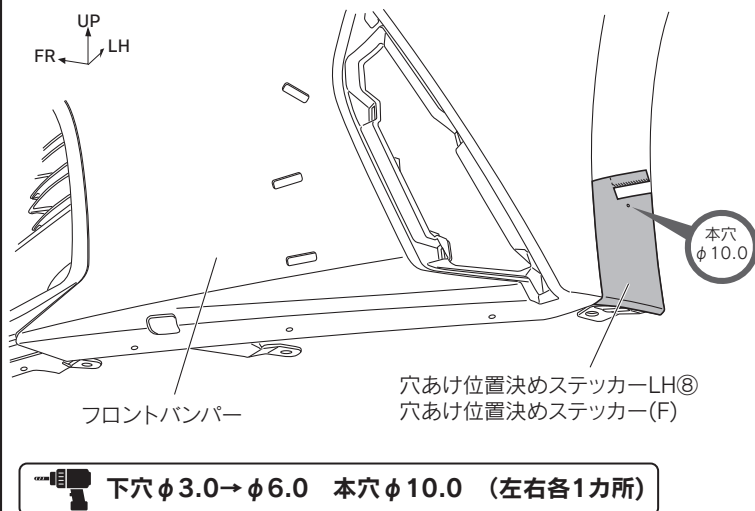
図9 ※LH図示 左右共通作業

ステッカー記載の要領に従って正確に貼付けてください。



11. 図9のように穴あけ位置決めステッカーLH⑧から穴あけ位置決めステッカー(F)を剥がし、フロントバンパー下面から側面にかけて貼付ける。

図10 ※LH図示 左右共通作業



12. 図10のように穴あけ位置決めステッカー(F)に型抜きされている小さな穴の中心を狙い、ドリルで下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。
(左右各1箇所)

⚠ **注意** :作業時は保護メガネを着用してください。

⚠ **注意** :穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

🔧 **アドバイス** :突き抜け防止のため、ドリル先端から10mmのところに布テープを巻付けてください。

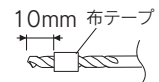
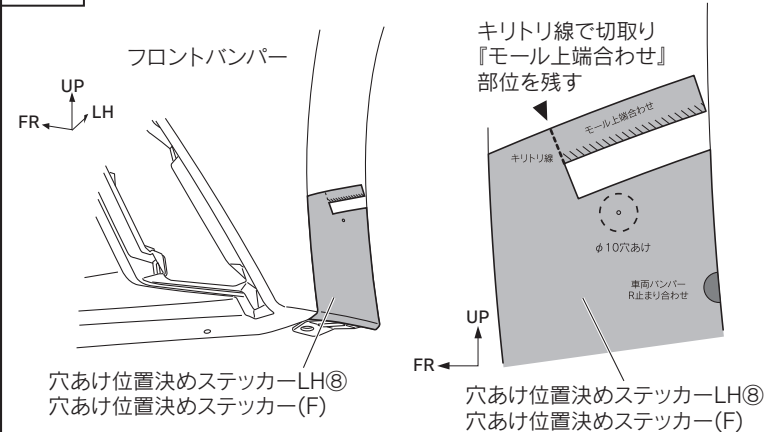


図11 ※LH図示 左右共通作業

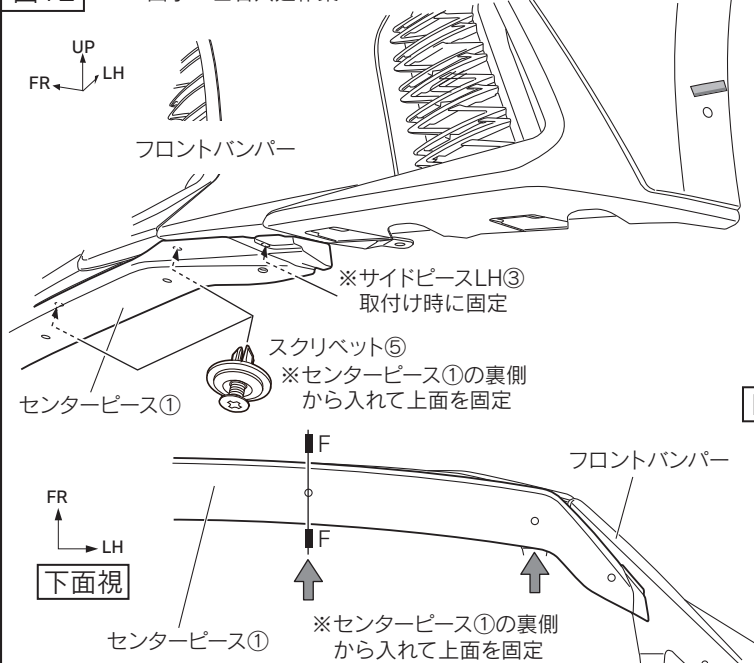


13. 図11のように穴あけ位置決めステッカー(F)、モール上端合わせ位置の部位を残してキリトリ線で切離し剥がし、穴周囲のバリを除去する。(左右各1箇所)

14. 該車両の修理書に従い、グリルガーニッシュLH、サイドブラケットLHをフロントバンパーに取付け、フロントバンパーを車両に復元する。
その際、フェンダーライナーは後工程のために固定しない。

□ フロントスポイラーの取付け要領

図12 ※LH図示 左右共通作業



1. 図12のようにフロントバンパー下面にセンターピース①をあて、センターピースの裏側からスクリベット⑤で固定する。
(左右各2箇所)

🔧 **アドバイス** :スクリベットは下面の穴からプラスドライバーを挿し込み押し込んでください。
押し込みにくい場合はプラスドライバーを回して締め込んでください。

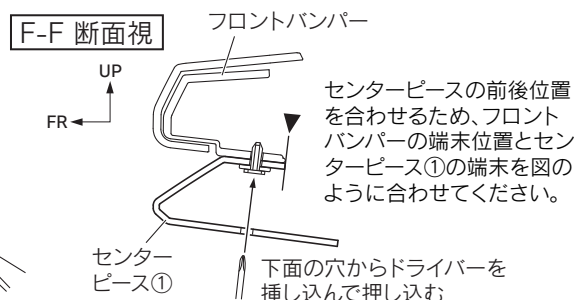
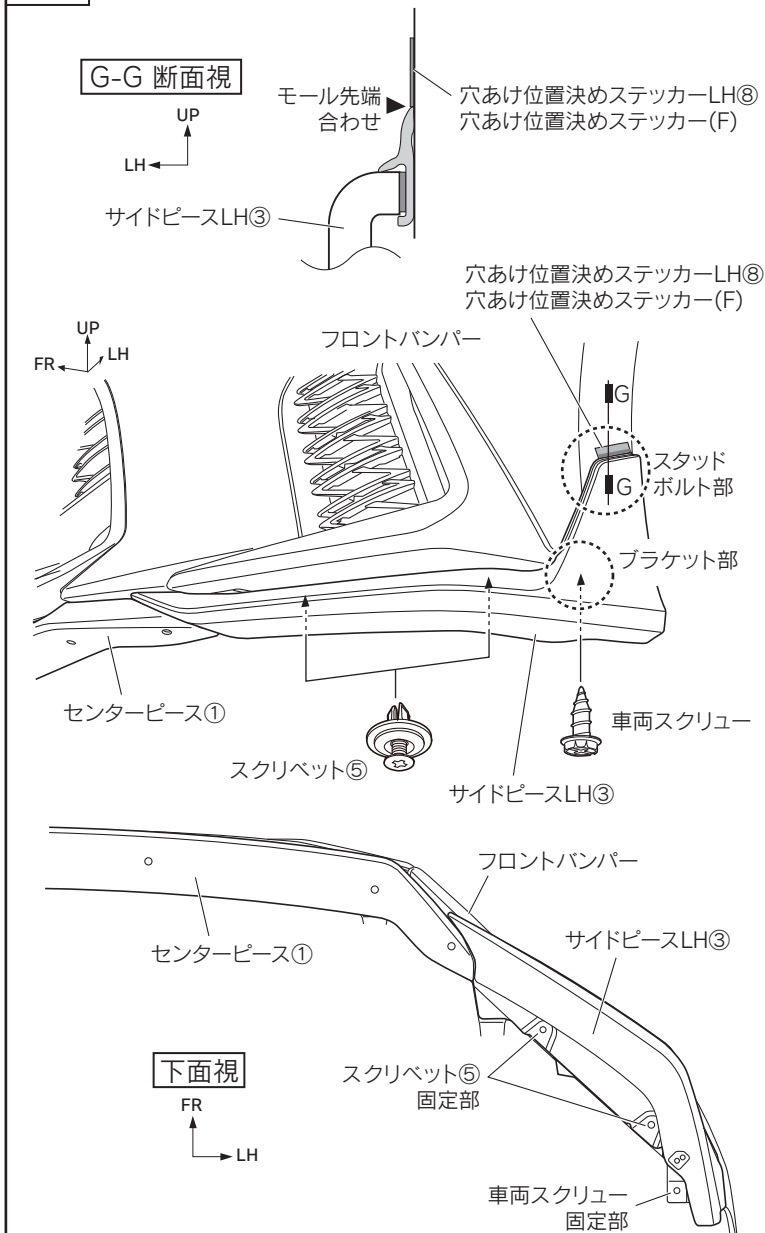


図13 ※LH図示 左右共通作業



2. 図13のようにフロントバンパーにサイドピースLH③をあて、下面をスクリベット⑤、車両スクリューで仮固定する。

アドバイス: サイドピースLH③下面ブラケットをフロントバンパー下面から先にあて次にスタッドボルトを挿し込み、最後に車両中央側の先端をセンターピースに重ね合わせてください。

アドバイス: サイドピースLH③ホイールハウス部はフロントバンパーとの間に隙間を確保してください。前方へ突きあてると正しい位置に取付けできません。

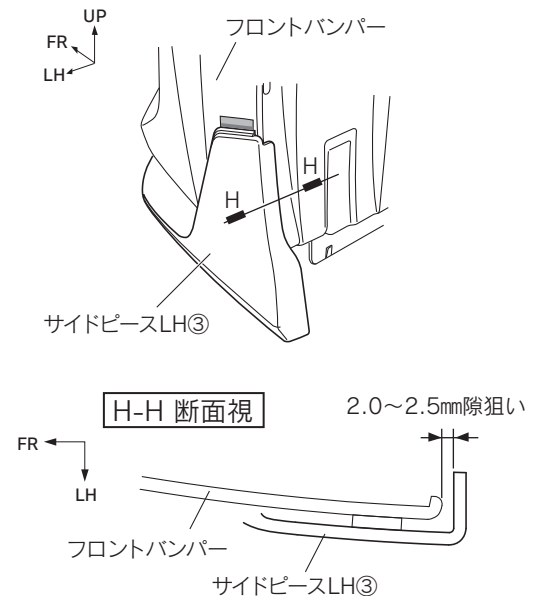
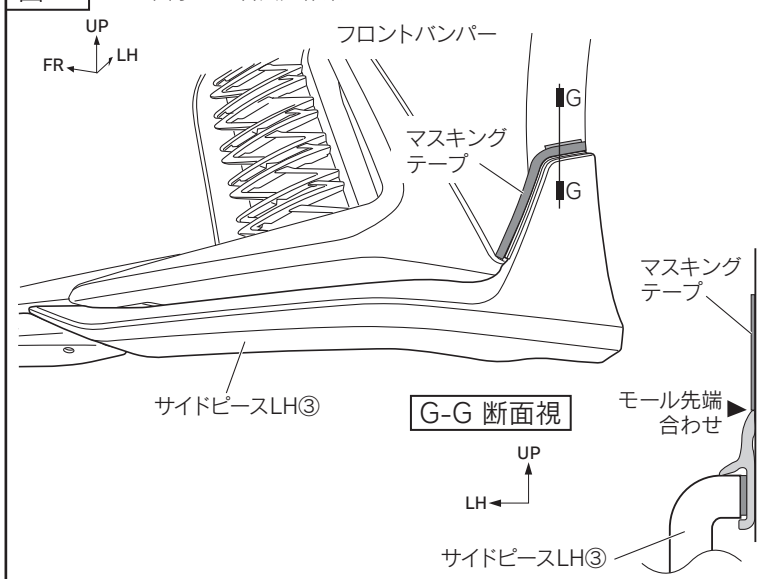


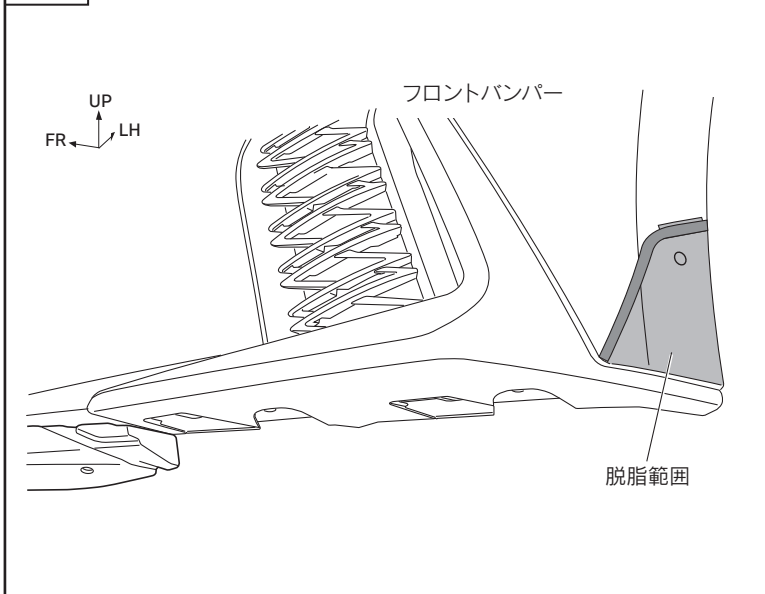
図14 ※LH図示 左右共通作業



3. 図14のようにサイドピースLH③側面のモール先端と、位置決めステッカーを合わせた状態でモール先端に合わせてマスキングテープで貼付ける。

△注意: PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行なってください。

図15 ※LH図示 左右共通作業



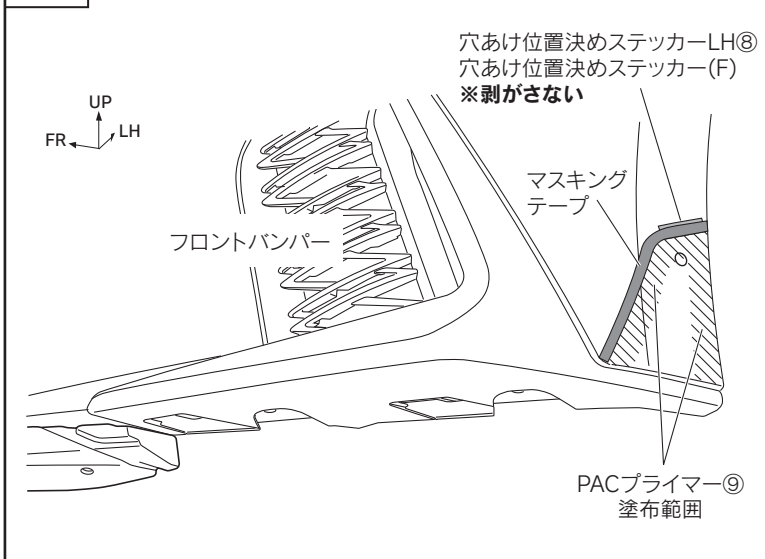
4. サイドピースLH③を取外す。
5. 図15のようにサイドピースLH③の両面テープ貼付け部の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂する。

⚠ **注意** : 脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残リテープが剥がれる原因になります。

📌 **アドバイス** : 脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図16 ※LH図示 左右共通作業

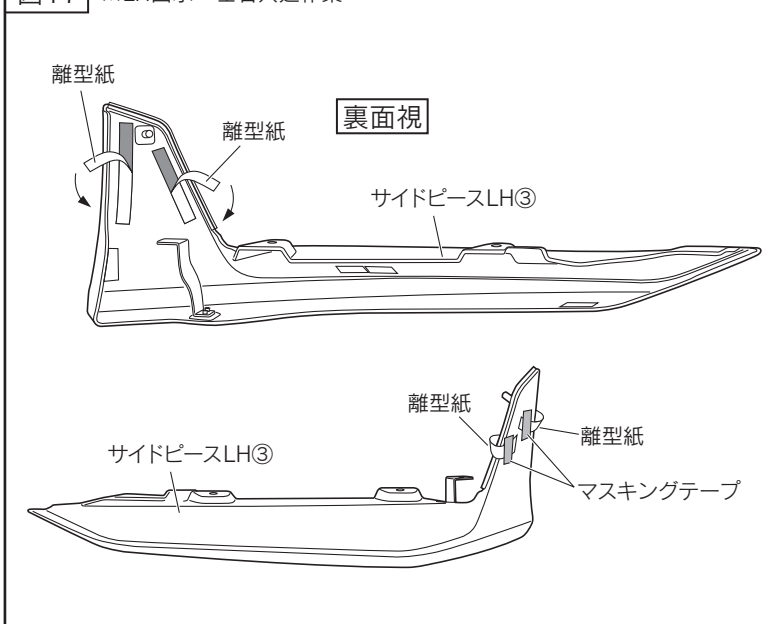


6. 図16のようにサイドピースLH③の両面テープ貼付け部にPACプライマー⑨を塗布する。

⚠ **注意** : プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

7. マスキングテープを剥がす。
※位置決めステッカーは剥がさないでください。

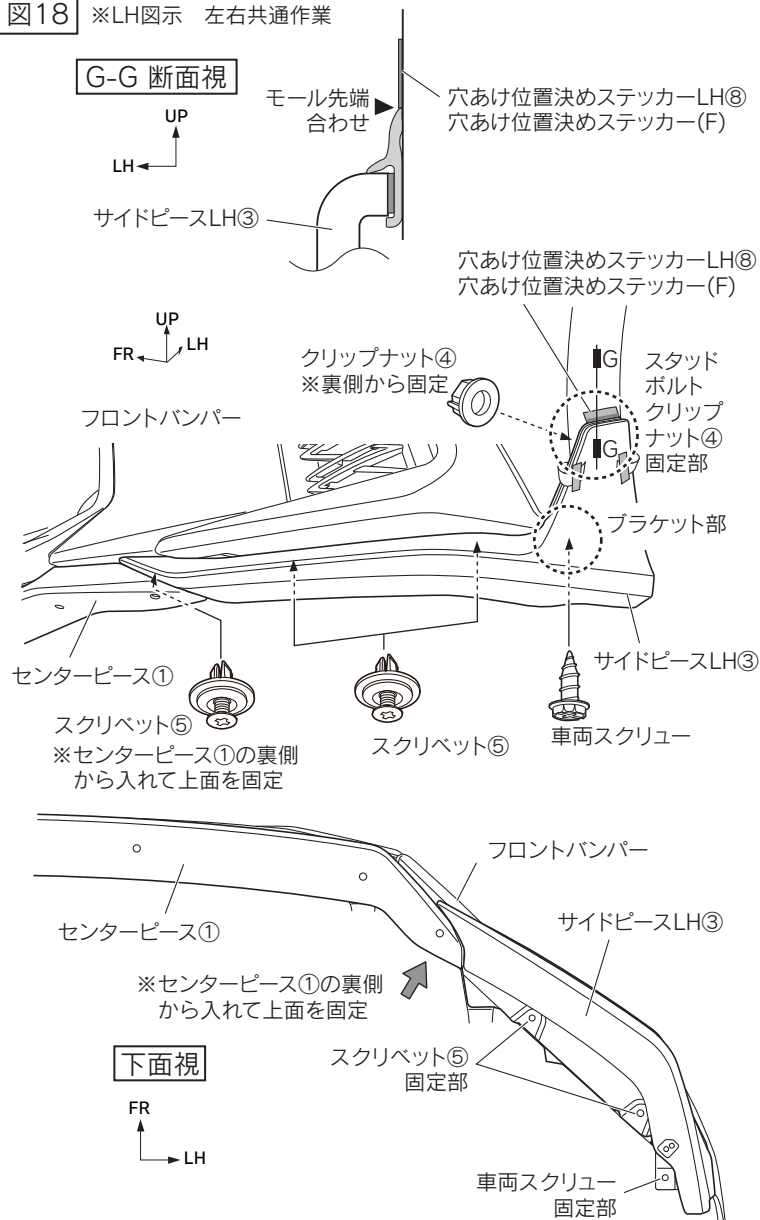
図17 ※LH図示 左右共通作業



8. 図17のようにサイドピースLH③両面テープ離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

⚠ **注意** : 両面テープの接着力を最大限発揮させるため、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に温めてください。

図18 ※LH図示 左右共通作業



9. 図18のようにフロントバンパーにサイドピースLH③をあて、下面をスクリベット⑤で固定する。
10. 図18のようにセンターピース①の裏側からスクリベット⑤で固定する。
(左右各1箇所)
11. 図18のように下面を車両スクリューで、側面をクリップナット④で仮固定する。

アドバイス: サイドピースLH③下面ブラケットをフロントバンパー下面から先にあて次にスタッドボルトを挿し込み、最後に車両中央側の先端をセンターピースに重ね合わせてください。

アドバイス: サイドピースLH③ホイールハウス部はフロントバンパーとの間に隙間を確保してください。前方へ突きあてると正しい位置に取付けできません。

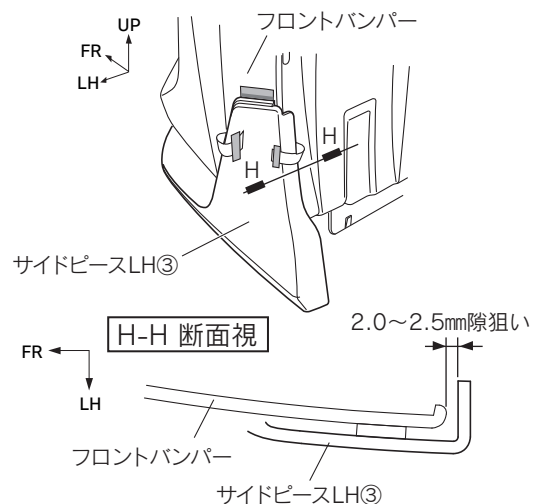
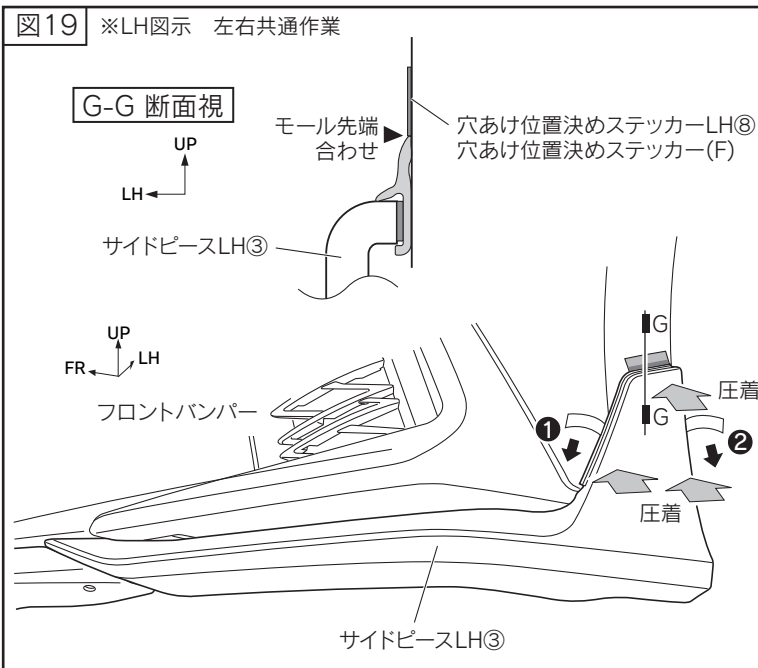


図19 ※LH図示 左右共通作業

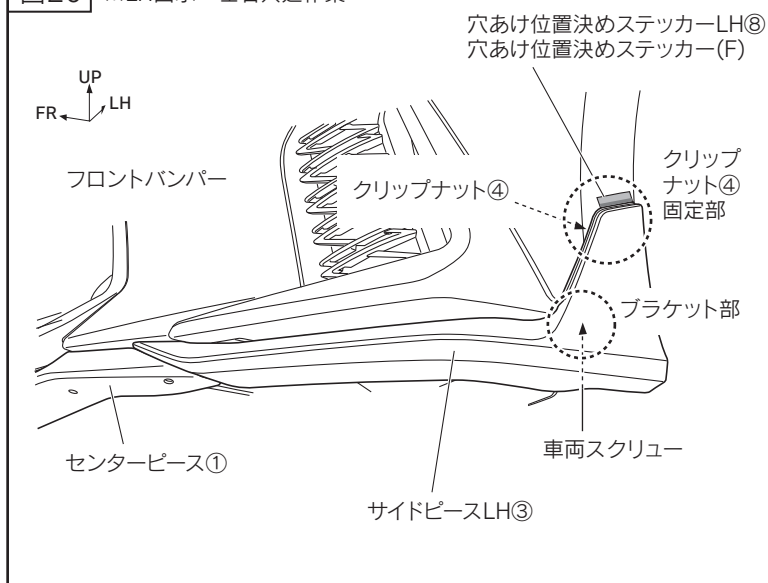


12. 図19のようにサイドピースLH③側面のモール先端と、位置決めステッカーを合わせた状態で両面テープの離型紙を矢印の方向へ剥がしながら圧着する。

アドバイス: 両面テープの接着力は安定するまで3~5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、掛からないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

警告: 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し、脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図20 ※LH図示 左右共通作業



13. 図20のようにサイドピースLH③下面の車両スクリュー及び側面のクリップナット④を本締めする。

14. 位置決めステッカー(F)を剥がす。

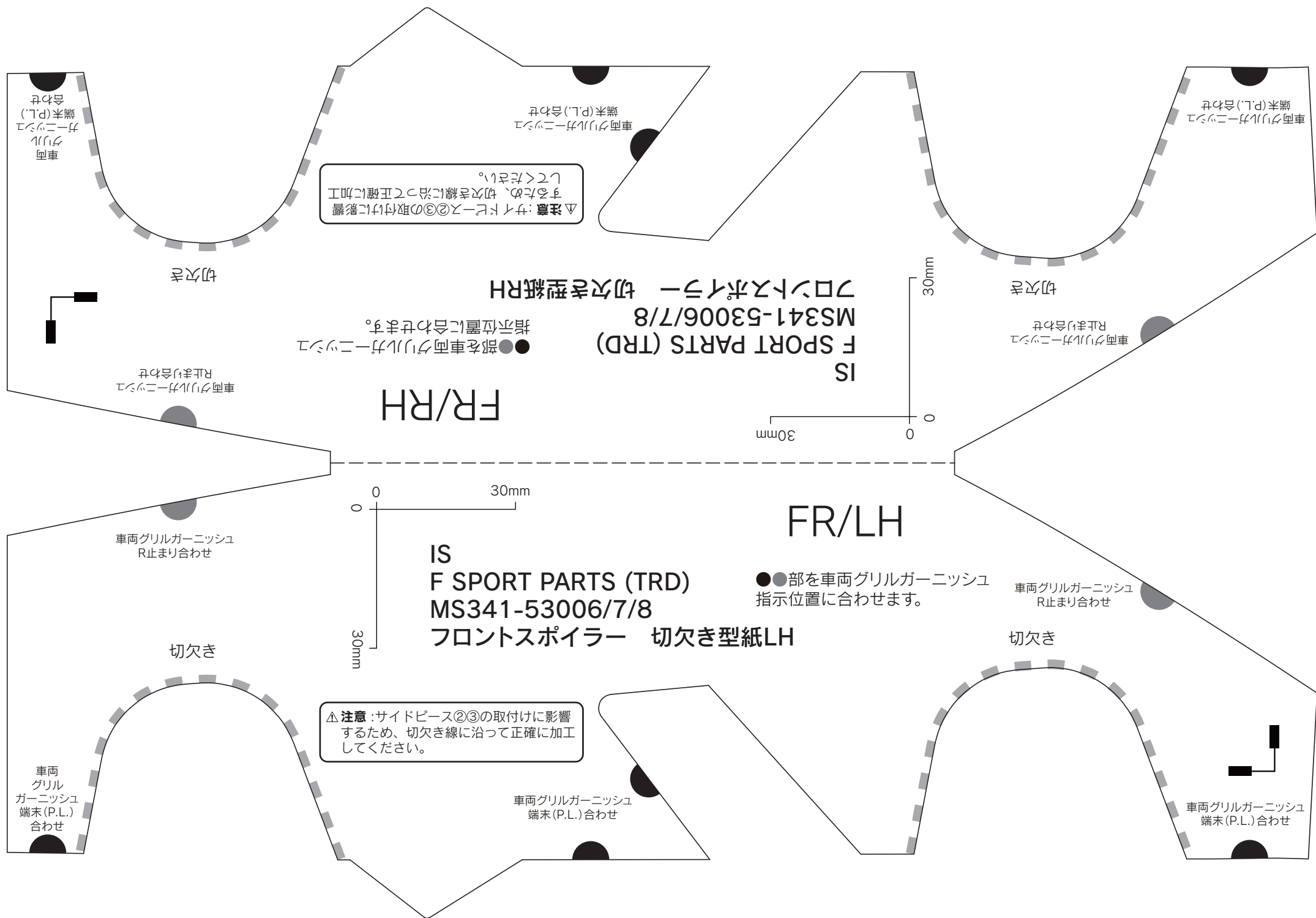
15. 該当車両の修理書に従い、フェンダーライナーを復元する。

16. バッテリーのマイナス端子を接続する。

■ 取付け完了後の点検・注意事項

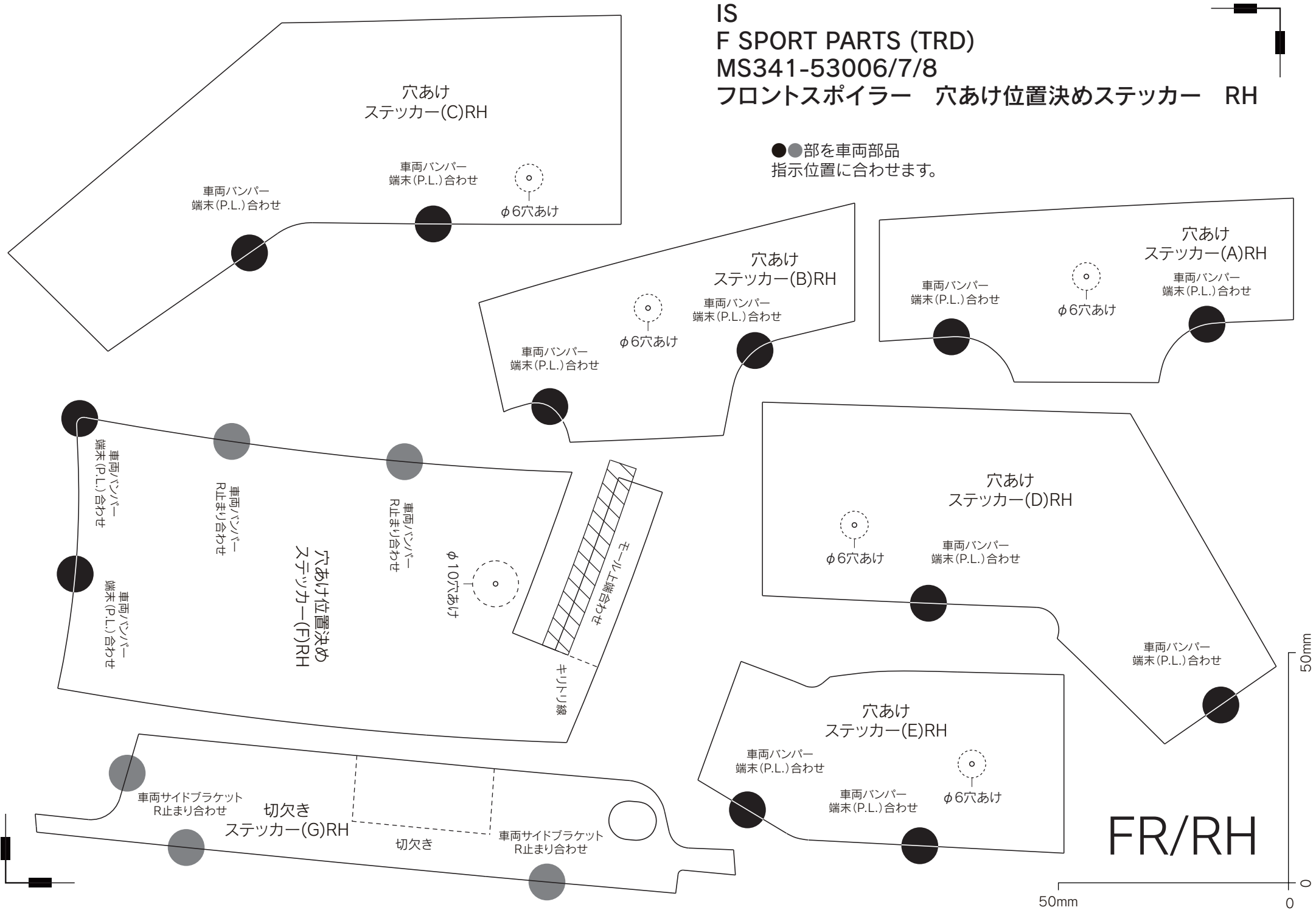
1. 製品全周にわたり、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びフロントスポイラー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>



フロントスポイラー 穴あけ位置決めステッカー RH

●●部を車両部品
指示位置に合わせます。



フロントスポイラー 穴あけ位置決めステッカー LH

